

平成 29 年度当初予算の主な事業を紹介します

安全・安心のための予算

■ため池等整備・補強事業 3001 万円
ため池などの整備や改修、補強などに要する経費

■防災経費 2935 万 7000 円
防災意識の普及啓発のための経費や、豪雨や地震などの災害時の備蓄資機材、食糧を確保する経費

■消防施設整備事業（補助分） 7300 万円
災害対応のための特殊消防ポンプ自動車と高規格救急自動車を整備するもの

自然・環境のための予算（ごみ処理など）

■ごみ減量化事業 1888 万 5000 円
ごみ排出量を削減し、限りある資源を大切にすることの普及啓発を図るもの

■自然保護事業 545 万 3000 円
美しい自然を残すため、自然保護意識の高揚を図るもの

スポーツ・文化・生涯学習のための予算

■そうじゃ吉備路マラソン大会経費 2598 万 7000 円
そうじゃ吉備路マラソン大会を開催する経費

■体育施設整備事業 5700 万円
高梁川河川敷グラウンドの拡張に向け、所要の整備を行うほか、北公園陸上競技場の照明設備を充実させ、利便性の向上を図るもの

借入金返済のための予算

■元利償還金 27 億 3945 万円
市債の元利と利子を償還する経費

その他の予算

■地域づくり自由枠交付金 7684 万 5000 円
環境や防災・防犯などの活動において、地域住民で話し合い、地域の事情や特色に合った使途を決め、有効的に活用できる交付金を交付するもの



平成 27 年度から市内全地区でスタートしている地域づくり自由枠交付金。防災訓練や地域の祭りなど、さまざまな用途で地域のために活用されている

■若者人材育成事業 100 万 2000 円
総社市在住在勤の若者を対象に人材養成塾を開講する。塾生が総社市を知り、課題の解決を図るプランを企画するなど「実行型」の塾を通じて、人材育成を図るもの

■議会活動経費 3640 万 5000 円
効率的な議会運営、議員の調査研究のための経費

学校・幼児教育のための予算

■学校一括交付金 4330 万円
市内小中学校に対し、市が交付金を交付することにより、各学校の実情に応じた取り組みや特色ある学校づくりを促進し、学校教育の振興を図るもの

■普通教室エアコン設置事業 1 億 4828 万 4000 円
小学校の普通教室にエアコンを設置し、環境を整えるもの

■昭和地区等英語教育推進事業 4712 万 6000 円
山田幼・維新幼・維新小、昭和小、昭和中、池田・新本地区の幼稚園・小学校の園児・児童・生徒に特別な英語教育を提供し、コミュニケーション能力や国際的視野を身に付けた人材を育成するもの

■調理場新設事業 3 億 500 万 9000 円
東西 2 つの調理場の老朽化が進んできたことから、両施設を統合した共同調理場を新設するもの

一般保健福祉のための予算

■定期臨時予防接種事業 5020 万 6000 円
高齢者の感染症予防対策として、肺炎球菌やインフルエンザなどのワクチン接種を実施するもの

■がん検診推進事業 1674 万 5000 円
乳がん・子宮がんの早期発見・早期治療による健康寿命の延伸を図るもの

■健康増進事業 394 万 1000 円
歯周疾患・骨粗しょう症・肝炎などの疾病の早期発見・早期治療による健康寿命の延伸を図るもの

観光・産業振興のための予算

■観光プロジェクト経費 1850 万 6000 円
「総社観光プロジェクト」からの提言を踏まえた事業を実施することにより、観光振興を図るもの

■定住促進事業 1099 万 6000 円
市内の少子高齢化が著しい地域への移住を促進するため、家屋の購入などへの助成や都市圏での P R による移住希望者の掘り起こしを実施するもの

■空き家対策事業 304 万 4000 円
「そうじゃ空き家百選」に情報を掲載し、市外からの移住・定住希望者の受け入れ体制を整備するもの

■ふるさと納税関連経費 10 億 5578 万 7000 円
税収に次ぐ重要な歳入としての「ふるさと納税」について、返礼品の拡充を行うとともに、P R に努め、歳入確保を図るもの

市に対するふるさと納税寄付金額は昨年はじめて 10 億円を突破。特産商品の総社産米をはじめ、市内企業の返礼品を数多くラインアップしている



福祉王国プログラム 約 1 億 2000 万円 グランドデザイン改革 約 3 億 1300 万円

弱者支援のための予算

■ひきこもり支援事業 1309 万 4000 円
ひきこもり支援として、相談窓口や居場所の設置、就労支援などを行い、社会復帰につなげていくもの

■障がい者千人雇用事業 2105 万 9000 円
障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、福祉から就労への支援を行うもの



平成 23 年にスタートした障がい者千人雇用。2 月末時点で就労者数は 980 人となった。目標達成まであと少し

■生活困窮者自立支援事業 3260 万円
経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなる恐れのある人や複合的な課題を抱えた困窮者を幅広く受け止め、自立に向けた支援を強化するもの

■特別支援教育推進センター事業 1226 万円
通級指導教室の開室、教育支援コーディネーターの配置、相談員の増員などにより、発達障がい児の特別支援教育の充実を図るもの

生活基盤整備のための予算（道路など）

■道路維持経費（市道修理）1 億 241 万 1000 円
市道の修理などに要する経費

■橋梁等維持管理経費 6412 万円
橋梁の点検・修繕などに要する経費

■南北道整備関連事業 2 億 9100 万円
刑部三須線をはじめとした南北道 4 路線の整備を行い、交通の利便性を向上させるもの

■立地適正化計画策定事業 1100 万円
都市計画マスタープランで位置付ける将来の人口減少社会に対応した「コンパクトプラスネットワーク」のまちづくりを推進するための指針として、立地適正化計画を策定するもの



交通の利便性を図るため南北の道路 4 路線（刑部支線 3283 号道、刑部三須線、上原富原線、福井支線 3467 号道）が整備される。写真は刑部支線 3283 号道。交通量は多いが幅員は狭い

子育てのための予算

■小児医療費 2 億 4990 万 3000 円
保険により医療を受けた場合、自己負担額の全額を給付する経費（給付対象は通院が小学校 6 年生修了前まで、入院は中学校 3 年生修了前まで）

■放課後児童クラブの運営 1921 万円
放課後児童クラブ施設の増設と民間保育所を利用した待機児童解消を図るもの

■定期臨時予防接種事業 1 億 5145 万 3000 円
小児の感染症予防対策として、4 種混合やヒブ、水痘などのワクチン接種を実施するもの

■私立保育所等運営委託事業及び
私立保育所助成事業 16 億 8148 万 4000 円
私立保育所 12 園、公設民営保育所 1 か所と、小規模保育所や事業所内保育所の運営費と事業費補助

■認定こども園施設整備事業 3500 万円
総社保育所と井尻野幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園として整備するため、設計するもの



新たに認定こども園として整備が予定されている井尻野幼稚園（写真左）と総社保育所（写真右）

高齢者のための予算

■見守り支援システム事業 168 万 5000 円
高齢者について、平成 28 年度に構築したシステムを活用し、災害時の避難行動要支援者名簿として利用するなど、新たなサービスを検討するもの

■高齢者労働能力活用事業 2328 万 6000 円
長年培ってきた職業的経験や能力を生かしたいと望む高齢者の働く場を確保し、生活の充実・健康保持の発展につなげるもの

■S O S 声かけ訓練 43 万円
認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するため、SOS メールを活用した声掛け訓練を実施する経費

■総社市新生活交通経費 7139 万 1000 円
交通空白地を解消し、高齢者など交通弱者の移動手段を確保するため、戸口から戸口までの輸送手段である「雪舟くん」を運行するための経費

交通弱者の足として、低料金で市内を運行している雪舟くん。4 月 7 日には新車両のお披露目が行われた

